

学校だより



平成27年7月10日
尼崎市立尼崎養護学校

日本には 七十二もの季節があります

「季節がめぐる」という言葉があります。それは私たちが日々を過ごす中で、ふとした瞬間に、新しい季節の訪れに気づくこともかもしれません。

6月末には尼養の校庭に、校務員さんが種から大切に育てたミニひまわりが、太陽に向かって一気に花開きました。昨年ならばこの時期、蝉のなき声に目覚めることもありました。

日本には春夏秋冬の四季だけではなく、二十四の「気」という季節、七十二もの「候」という季節があり、旧暦をもとに暮らしていた時代には、人々はそうした季節の移ろいをこまやかに感じとって暮らしていたようです。



今年度に入り、平成30年度に移転予定の校舎設計が慌ただしく進んでいます。HR教室・特別教室・PTA控室をはじめとする様々な教室や施設の大きさや数は決定し、現在それぞれの教室の仕様について検討しています。

「こんな校舎にしたい」「こんな教室にしたい」「幅の広い利用の仕方を考えたい」今は尼養に関わる方々に協力してもらいながら、学校の考えをしっかりと伝えています。現在尼養には無い特別教室も追加されています。もちろん、卒業生の集える場にもしたいと考えています。

全て決定された校舎設計ではありませんが、現在までに進んだ校舎の設計を校長室前の廊下に掲示していますので、ご来校の際にはぜひご覧下さい。



先日ラジオ番組で「半夏生」という言葉が紹介されました。とてもきれいな響きの言葉ですね。

半夏（からすびしゃく ※ドクダミ科の多年草）が生え始める頃で、お百姓さんが田植えを終わらせ、休息をとる頃をあらわしているようです。

そして、この季節を表す夏の風物詩に、京都八坂神社の祭礼「祇園祭」があります。7月1日から1ヶ月もおこなわれる長い祭りです。平安京で疾病が流行った869年に無病息災を祈る儀式が起源と言われています。

七十二候は自然の流れに寄りそう暮らしの大切さや、人の身も心も豊にしてくれる知恵を届けてくれます。



教職員研修 授業力向上 児童生徒の病理について

6月から7月は教育実習生や介護体験実習で大勢の大学生を受け入れ、とても忙しい日々が続いています。またこの時期は教員研修会も数多く実施しています。「関西国際大学の中尾先生」「くらしき作陽大学の橋本先生」や「医療福祉センターきずなの常石ドクター」を講師として招き、一人ひとりの実態に応じた学習支援の方法、授業力向上、児童・生徒の医療的ケアについての理解を深めました。児童・生徒一人ひとりの実態を把握し、適切な支援をしながら教育をおこなうにあたり、とても大切な研修の一つです。

教育実習 関西国際大学より

6月15日～26日までの2週間、教育実習に取り組んだ4名の大学生。わずかな時間で児童・生徒とのかかわりを深めながら、課題である研究授業を公開してくれました。

児童・生徒の気持ちを察して、やる気を引き出そうと一生懸命に取り組む姿、それに応えようとする児童・生徒たち、その姿を見ながら応援する先生たち。

近い将来、先生の仲間入りをし、尼崎の教育を支える人材となってくれることを期待しています。



2週間ほんとう短い間でしたが、とても充実した日々を過ごすことができました。生徒一人ひとりと関わる中でその子の良いところや個性をたくさん見つけることができました。明るく元気いっほりの姿を見る、私自身も元気をもらいました。この2週間学んだこと、経験したことを活かして将来の夢である教師を目指して頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。 関西国際大学4年生 坂本 樹

2週間という短い間でしたが、尼崎養護学校に来た、すごく充実した日々を送らせていただきました。私自身のアタマに入れた頂上、毎日が楽しく生徒たちに元気ももらいました。来場からは指導する立場に慣れます。次は、子どもたちに何か伝えたいものを教師にしたいと思っています。その時また、ご指導よろしくお願い致します。短い間でしたが本当にありがとうございました。 絶対！教師になります！ わたしはハムカ 渡邊 萌美

6/15～6/26の2週間、尼崎養護学校で実習させていただきました。私は中学部（主に2、3年のクラス）を担当させていただきました。みんな明るく元気で！1日目とても楽しかったです。たくさん勉強させてもらいました。明るい生徒、優しい先生方と一緒に過ごすことが出来て本当にいい体験になりました。 ありがとうございます!!! 坂本 優



平成28年度に尼崎市は市制100周年を迎えます。平成27年度はプレ記念期間となり、100周年をPRする取り組みが尼崎市内で始まります。市内の小中学校ではポスターや横断幕を作成し、各校の敷地フェンスに掲示します。尼崎養護学校も地域へのPR活動として、

児童・生徒の作品写真をバックに100周年のロゴマークを挿入したポスターを作成し、バスの後方の窓ガラスに貼り付け、PR活動をおこないます。（9月より始めます。）児童生徒の手作りPR作品も現在検討中です。また先日、「100周年ロゴマークTシャツを児童・生徒へプレゼントしたい」という、嬉しいお話が市内小学校の元PTA会長からありました。この件については、後日プリントで各家庭にお知らせいたします。

百歳を迎える尼崎